

# 株式会社ジェイコム湘南・神奈川 西湘局（秦野・伊勢原エリア）

## 2021 年度 放送番組審議会 議事録

2021 年度の放送番組審議会は、2022 年 3 月 29 日（火）にジェイコム湘南・神奈川 西湘局で開催された。

＜放送番組審議会委員＞ （五十音順）

—ご出席—

安藤 隆幸 様                      猪野 好春 様                      串田 浩 様                      中野 貴之 様

事業者側から局の現況、及び J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】（串田会長による進行）

**委員** 視聴者からの番組へのご意見はどのようなものがあり、こういったルートで制作部署に情報が届くのか。また年間何件くらいの問い合わせが入り、どのように回答を行っているのか。

**事業者** 防災情報・災害情報を取り扱ってほしいという要望が多い。コロナ以前はイベントの取材依頼が多かった。カスタマーセンターとホームページ経由で問い合わせが入ることがほとんどであり、直接電話で入ることは少ない。問い合わせ件数は年間 130 件程度である。連絡先を特定できない場合も多く、承った旨の返答のみすることが多い。番組上では、いただいたご要望に関して触れていない。

**事業者** 昨年の放送番組審議会でも視聴者からの問い合わせの要望に応じていくと報告しているが、現状まだ足りていない。番組内容・WEB カメラ・取材の仕方など、様々なご要望をいただいている。こういった意見は出来る限り集めて、報告していきたい。問い合わせルートについては、現在はアプリ・SNS からの意見が圧倒的に増えており、内容はサービス向上といった CS 観点のご要望が多い。今年度はオリンピック関連の問い合わせも多かった。出来る限り番組でもまとめて案内をしていきたい。サイバー系の部署では、WEB 上で「J:COM」のワードが出ているものに関して内容を拾い上げてチェックを行っている。

**委員** J:COM チャンネル・J:COM テレビの視聴者を増やすために、どのような取り組みをされているのか。

**事業者** 当社の主要サービスについてテレビ CM を実施している。J:COM はこれまで 30 年弱は訪問営業で業績を伸ばしてきたが、現在は CATV サービスが定着し、WEB 経由の加入を積極的に実施するなど、営業も訪問型から非接触型にシフトしている。また、コロナ禍で対面営業が難しくなり、オンラインでの営業に変わってきている。

**委員** 民放では視聴率を出しているが、J:COM でも視聴率を出しているのか。

**事業者** 公表はしていないが、当社も視聴率の数字を算出している。民放はビデオリサーチ社の視聴率を使用しているが、J:COMはテレビチューナー経由で視聴者数の抽出を行っている。難視聴エリアでテレビチューナーを使用せずにご覧いただいている世帯もあるが、正確な数字はつかみきれていない。

**委員** コロナ渦で取材件数が落ち込んだという話があったが、今後元通り増やしてほしい。

**委員** 秦野市では、「はだのブランド」というPRを目的とした名産品等の認証制度がある。テレビ神奈川・FMヨコハマ・タウンニュース社など他多数のメディア媒体で取り上げてもらったが、J:COMには取材をしてもらえなかった。17時の地域情報番組はお休みしているという話があったが、地域のヒト・モノ・コトをフォーカスするという「LIVE ニュース」のコンセプトに沿って、出来る限り番組で地域の取り組みを取り上げ、情報発信をしていただきたい。PRを行いたいと考えている地域の事業者は多い。

**事業者** 当社もはだのブランド推進協議会のメンバーになっており、メディアとしてお声がけいただいているにも関わらず、取材対応が出来ていない点はお詫び申し上げます。取材依頼は多いものの、コロナ渦で断り続けている状況にあり、来期は改善していきたい。

**委員** 17時の地域情報番組の再開見込み時期をお伺いしたい。

**事業者** 再開時期に関しては、未定である。現状生放送番組も多く、またコロナ禍におけるスタッフの特別シフトや働き方改革等もあり、社内体制が整っていない。秦野・伊勢原エリアでは、水曜日に「LIVE ニュース」の生放送を実施している。

**事業者** 取材ネタはどちらかというと後パブの位置づけとなることが多いが、先付けの情報を増やすために生放送を増やしている。また会社の財産として映像を残すという観点から、「WEEKLY トピックス」という番組を週末に放送している。新番組「居酒屋石ちゃん」が始まり、例えば造り酒屋とワイナリーなど、異なった2つのエリアの方々を繋ぐ役割を果たしている。秦野・伊勢原エリアについても地域で様々な取り組みをされている方を探し、今後番組にご出演いただきたい。

**事業者** 委員の皆さまからのご意見、活発な審議ありがとうございました。今後の番組の制作に役立てていきたいと思っております。

以上